

# 掛川市道路整備プログラム

【中間検証版】



平成 30 年 5 月  
掛川市



## 1. 掛川市道路整備プログラムとは

少子高齢化、地球温暖化や大規模災害対策等の課題が深刻化するなど、社会情勢が大きな変化をむかえる中、市民の安全安心や確実な地域創生を確保するために道路整備は欠くことができません。

このため、将来都市像を見据えた道路網計画を基に、都市計画道路の見直しなどの検討を実施し、幹線道路の未整備区間における整備の必要性・緊急性を客観的に評価し、優先的に整備する道路を選択することで、道路整備に対する透明性を高め、計画的かつ効率的な整備推進を図る目的で平成 25 年 2 月に道路整備プログラムを策定しました。(以下「H25 版プログラム」とします)

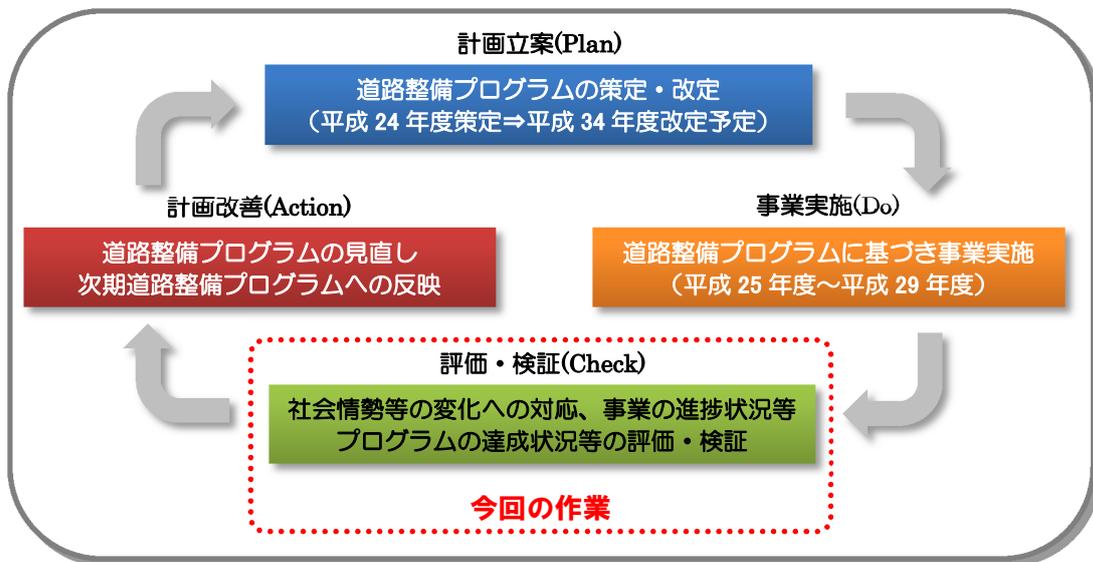
H25 版プログラムに記載されている事業箇所のうち、県管理道路については掛川市として事業要望する上での優先順位として、掛川市が管理する市道・農道については、幹線道路以上の整備順位の基礎資料として活用しています。

## 2. 中間検証について

### 2-1. 中間検証の目的

H25 版プログラム策定から5年が経過したことから、社会情勢や道路整備環境、掛川市総合計画との整合性、事業の進捗状況などを確認し、評価項目の再検討や計画の見直しなどを行うこととしました。

この作業は、H25 版プログラム **はじめに 3.策定の流れ** の中に「5年後に事業の達成度を評価し、計画の見直しを行います。」として当初から盛り込まれている作業です。



### 2-2. 今回実施する作業

H25 版プログラムでは、「都市計画道路の見直し」を行い将来道路網を構築した後、整備が必要となる幹線路線の優先順位の設定を行うと同時に、都市計画道路の廃止路線を選定しました。

その後、人口減少・少子高齢化が進む中、国では平成 26 年 8 月に都市再生特別措置法を改正し、今後の都市づくりを「コンパクト＋ネットワーク」という考え方に大きく舵を切りました。これを受け、掛川市では平成 30 年 3 月を目途に「都市計画マスタープラン」の見直しに着手しましたが、道路整備プログラムにおける「都市計画道路見直し」については、新たな「都市計画マスタープラン」との整合を図る必要があります。このため、都市計画道路の見直し作業については同マスタープラン策定後に行うこととし、今回は整備を必



要とする幹線路線等の優先順位を検討するための評価項目見直しと整備路線の再検討、優先順位の振り直しを実施しました。

### 3. 中間検証の視点

#### 3-1. 社会情勢・道路を取り巻く情勢に関する整合性

H25年版プログラムに記載されていた情勢に加え、高齢化の進展に伴う高齢者ドライバーによる痛ましい事故の報道が目につくようになってきました。

また、道路整備状況の変化においては、平成27年9月の国道1号袋井BP立体部の4車線化、平成28年1月の同BP平面部の多車線化が完成しました。この結果、暫定2車線のままになっている同掛川BPの渋滞の悪化やBPに平行する一般県道日坂沢田線(国道1号旧道)にも著しい渋滞が発生しています。

#### 3-2. 上位計画における道路整備の位置づけ

《第2次掛川市総合計画》

『重点施策4 明日の掛川をつくり豊かで潤いのある安心な暮らしを守る』において、「活発な交流を支える幹線道路の整備」や「歩行者も車も安全に通行できる生活道路の整備」が位置づけられています。

《掛川市都市計画マスタープラン》

『分野別方針2:都市交通の基本方針』では

- ◆ 広域都市間や拠点間、基幹的な都市施設との連絡・連携強化を図る幹線道路の役割や機能に応じた整備と適切な維持管理の推進
- ◆ 歩行者や自転車が安全に移動できる人に優しい道路環境の整備

として、道路整備が位置づけられています。

#### 3-3. 市民ニーズ

道路整備に関しては、毎年開催している『地区集会』の場で、改築や歩道設置、渋滞対策などの意見が出されており、市民ニーズの高さを痛感するところです。

経年変化を知ることができる『市民意識調査』に道路整備に関する意見を伺う項目はありませんが、『市内または市外に移転希望のある方の理由として比率が多い項目が「交通(道路・公共)」』という回答から、道路に対する要望の高いことが伺えます。

加えて、都市計画マスタープラン策定時に実施した「まちづくりワークショップ」でも、渋滞や道路幅員の狭さ、歩道の必要性などの意見が出されており、いずれの意見からも道路整備の必要性が伝わってきます。

#### 3-4. プログラムの進捗状況

H25年版プログラムには、県管理道路では改築系21ヶ所、交通安全系21ヶ所、市道においては、改築系27ヶ所、交通安全系5ヶ所が優先的に整備すべき箇所として整理されています。

これらの進捗状況を平成28年度末の棚卸し結果で確認したところ右表のとおりとなり、整備の必要がある箇所がまだ多く残っていることがわかります。

プログラムに位置づけられた箇所の進捗状況

	県管理道路		市道	
	改築系	交通安全系	改築系	交通安全系
完了	1ヶ所	3ヶ所	4ヶ所	0ヶ所
一部完了	0ヶ所	4ヶ所	2ヶ所	0ヶ所
施工中	6ヶ所	0ヶ所	11ヶ所	2ヶ所
未着手	14ヶ所	14ヶ所	10ヶ所	3ヶ所
合計	21ヶ所	21ヶ所	27ヶ所	5ヶ所



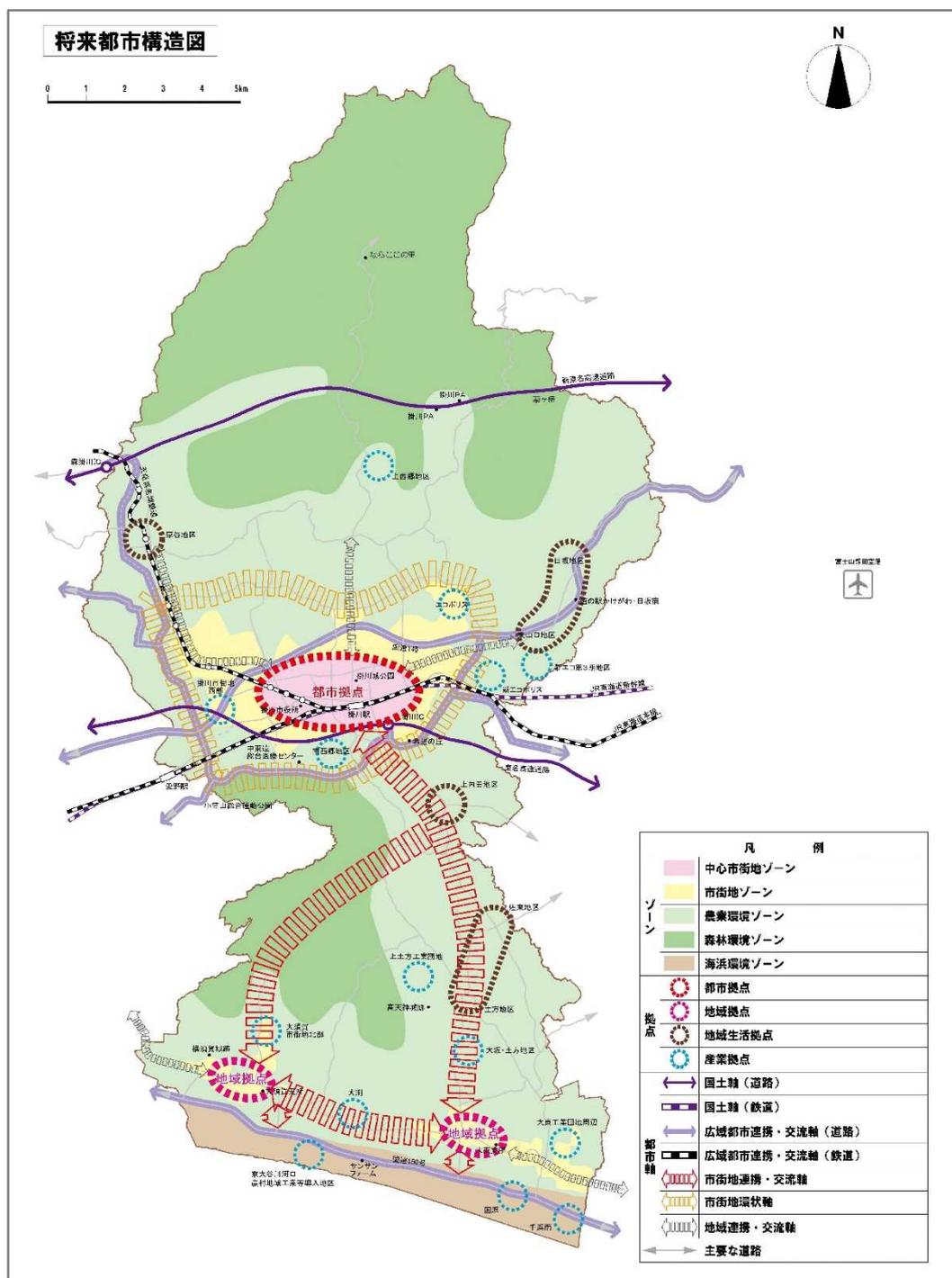
## 4. 後期5ヶ年の取り組みについて

### 4-1. 中間検証版道路整備プログラムの進め方

H25 版プログラムにおいては、道路整備の進め方について、『今後の都市計画道路の未整備区間を含む幹線道路以上の道路整備の必要性などを客観的に評価し、整備の優先度を決定、道路整備を計画的に進めていきます。』としていました。

今回の中間検証版では、その考え方を踏襲した上で、掛川市都市計画マスタープランの『将来都市構造図』(下図参照)で示されている都市軸や各拠点内に位置する道路、拠点と都市軸を接続する道路を、道路管理者として整備を優先すべき道路として位置づけ、さらに期成同盟会等の有無を加えて、整備箇所

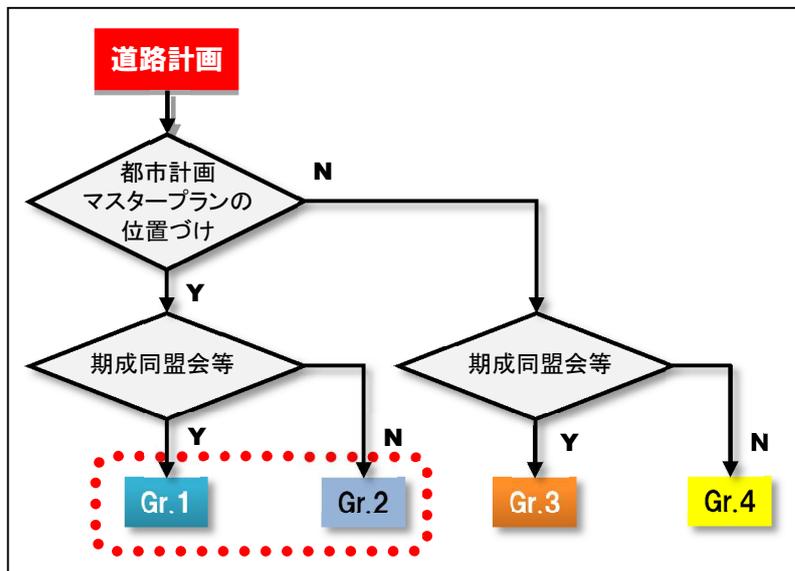
の優先度を検討することとしました。



## 4-2. 評価方法

「4-1.中間検証版道路整備プログラムの進め方」で記載したように、今回の中間検証では、掛川市都市計画マスタープランで示された『将来都市構造図』内の「拠点」及び「都市軸」を評価のベースと位置づけ（掛川市における重要施策）、さらに期成同盟会等の有無を加えて、右図に示すようなグループ分け（Gr.1～Gr.4）を行い、Gr.1 と Gr.2 を最優先路線と位置づけることとしました。

そして、各グループ内における優先度を判断する基準（評価の視点）として、以下に示す項目を設定しました。ただし、今回は評価点の多少だけでなく、事業の規模や地域の協力度合いなども加味して事業化の優先度を考えることとしました。



### 《事業の効果・必要性》

- 産業を支援する道路（工業や農業、観光、商業等の支援、沿道利用の可能性等）
- 既存道路の整備状況（混雑度、未改良区間の有無）
- 公共交通機関の支援（鉄道駅の存在やバス路線）
- 安全性確保（交通量、事故率、通学路等安全点検、通学路、教育機関や医療機関周辺）
- 防災機能（緊急輸送路、異常気象時通告規制区間、重要生活道路）
- 都市の形成（都市計画道路の位置づけ）

### 《その他特記すべき事項》

- 他事業との関連、個別計画など
- 地域の協力（協働）
- 新市建設計画の位置づけ

## 4-3. 事業予定箇所の再検証

「4-2.評価方法」に従って実施予定箇所の再検証を行った結果を「5. 評価結果」に示しました。

「総合評価」については、現在事業中の箇所や地元の同意などが得られており5年以内に着手が可能と考えられるものを【短期】、大規模な事業（事業規模が概ね1km 以上や 10 億円以上）、他機関との調整に時間を要する事業（県道昇格が必要など）を【長期】、それ以外の箇所については【中期】として 10 年以内の事業着手を目指すこととします。

## 4-4. 後期5ヶ年の取り組み方針

今回の中間検証版においては、計画の目標を第2次掛川市総合計画にあわせ『希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川』の実現とし、それを達成するための道路整備の方針として下記の5項目を設定しました。



このうち、最初の3項目についてはこれまでの平成 25 年版の方針を継承し、これに第2次総合計画の重点施策に位置づけられた「多極ネットワーク型コンパクトシティの構築」と「内陸フロンティアと企業誘致」の2項目を追加しました。

この5項目を、『**強くて、速くて、安全で、便利になって、稼いでくれる**』としてまとめ、キャッチフレーズとしました。

- 大規模地震や異常気象等に対応した災害に強い幹線道路整備
- 新東名高速道路・東名高速道路に関連する幹線道路整備
- 歩行者や自転車が快適で安全・安心な道路空間整備

前期5ヶ年より



- 多極ネットワーク型コンパクトシティの構築を推進する道路整備
- 内陸フロンティアと企業誘致を推進する道路整備

追加



『**希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川**』実現を目指します



## 5. 評価結果

### 《掛川市道路整備プログラム 改築系 国県道》

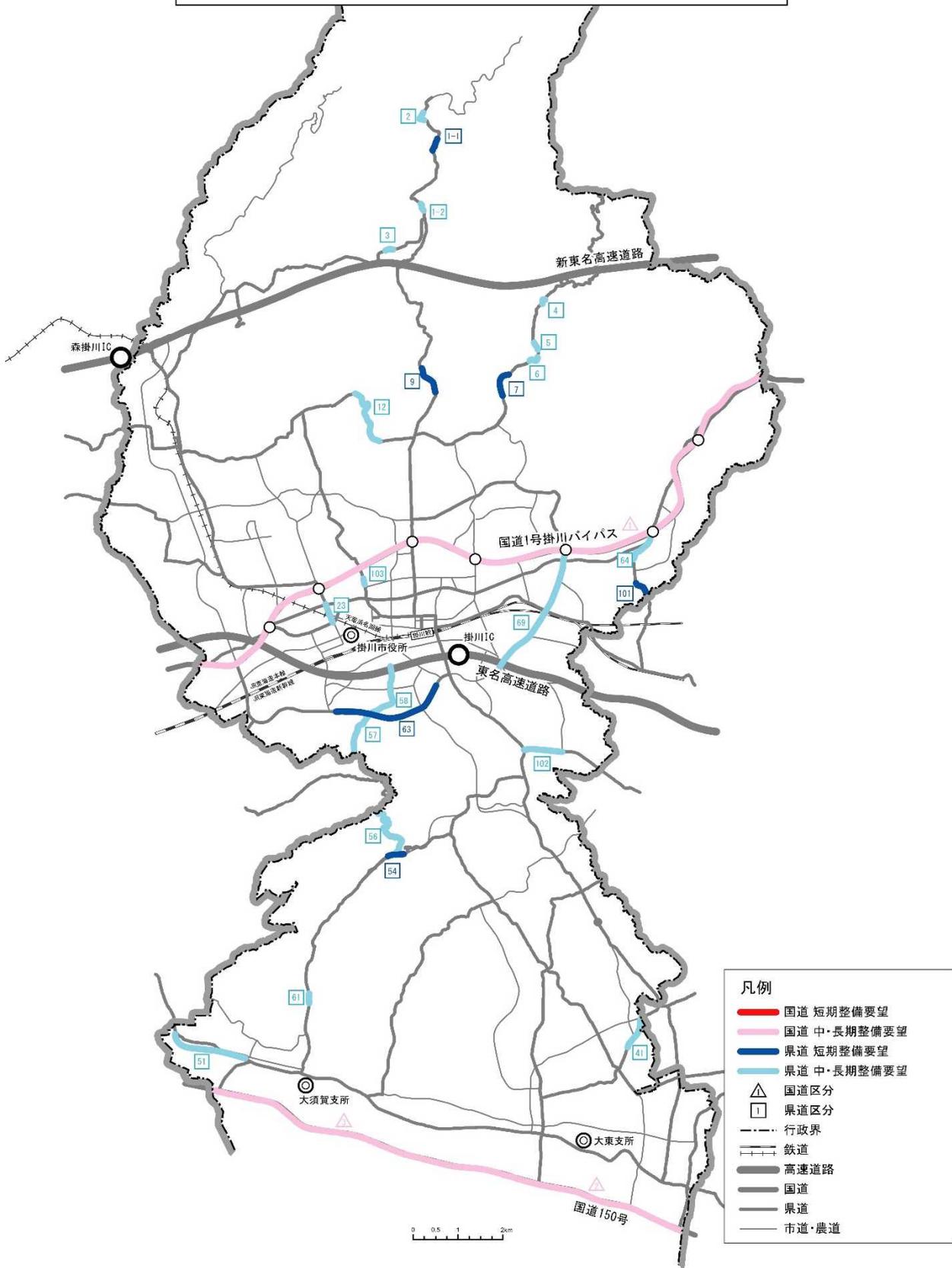
順位	区分	図面 番号	路線名	計画区間	延長 (m)	事業内容	評価 Gr	総合 評価	摘要 欄
国 1	国道	国 1	国道 1 号	掛川バイパス (日坂 BP 含む)	15,700	4 車線化	Gr.1	長期	
国 2	国道	国 2	国道 150 号	御前崎市境～矢柄線交差点	4,300	4 車線化	Gr.1	長期	
国 3	国道	国 3	国道 150 号	矢柄線交差点～袋井市境	6,700	4 車線化	Gr.1	長期	
1	県	51	(主)袋井大須賀線 (石津バイパス)	西田町～石津	2,400	バイパス新設	Gr.1	中期	
2	県	9	(主)掛川川根線	滝の谷	860	拡幅改良	Gr.1	短期	継
3	県	61	(一)大須賀掛川停車場線	仲町橋～ビューテック運送	320	拡幅改良	Gr.1	中期	
4	県	58	(一)大須賀掛川停車場線	富士見台霊園～カワニシゴルフ	1,400	拡幅改良	Gr.1	長期	
5	県	54	(一)大須賀掛川停車場線 (一)袋井小笠線	西大谷トンネル～旧町境	420	拡幅改良	Gr.1	短期	継
6	県	102	(一)小笠掛川線	上内田大谷交差点～ 菊川市境	850	拡幅改良 歩道設置	Gr.2	中期	追
7	県	101	(一)菊川停車場伊達方線	伊達方トンネル	500	拡幅改良	Gr.2	短期	
8	県	64	(一)菊川停車場伊達方線	伊達方～八坂	400	拡幅改良	Gr.2	長期	
9	県	23	(一)掛川袋井線 (起点の変更を伴う)	大池さわやか～橋町	260	新設	Gr.2	長期	
10	県	63	(一)磐田掛川線	上張～高御所 IC	2,300	4 車線化	Gr.2	短期	継
11	県	69	(一)磐田掛川線 (終点の変更を伴う)	杉谷～満水～逆川	2,430	新設	Gr.2	長期	
12	県	103	(一)原里大池線	前側橋	200	拡幅改良 (橋梁架替)	Gr.2	中期	追
13	県	6	(主)焼津森線	新在家橋～大宮橋	140	拡幅改良	Gr.3	中期	
14	県	7	(主)焼津森線	大宮橋～倉真小	610	拡幅改良	Gr.3	短期	継
15	県	4	(主)焼津森線	倉真温泉バス停～ 倉真 5 区集会所	180	拡幅改良	Gr.3	中期	
16	県	5	(主)焼津森線	戸長橋～田島橋	480	拡幅改良	Gr.3	中期	
17	県	12	(主)焼津森線	五明～上垂木	2,100	拡幅改良	Gr.3	中期	継
18	県	1-1	(主)掛川川根線	萩間	460	拡幅改良	Gr.3	短期	継
19	県	3	(一)大和田森線	大和田	500	拡幅改良	Gr.3	長期	
20	県	1-2	(主)掛川川根線	丹間	100	拡幅改良	Gr.3	中期	
21	県	2	(主)掛川川根線	居尻	200	拡幅改良	Gr.3	中期	
22	県	57	(一)大須賀掛川停車場線	小笠山～富士見台霊園	1,400	拡幅改良	Gr.3	長期	
23	県	56	(一)袋井小笠線	西大谷トンネル～小笠山	1,750	拡幅改良	Gr.3	長期	
24	県	41	(主)相良大須賀線	中(積水ハウス交差点)～ 菊川市境	680	交差点改良 歩道設置	Gr.3	長期	

※摘要欄・・・継:事業継続中の箇所、追:中間検証版において追加した箇所



# 掛川市道路整備プログラム

## < 改築系・国県道 >



《掛川市道路整備プログラム 交通安全系 国県道》

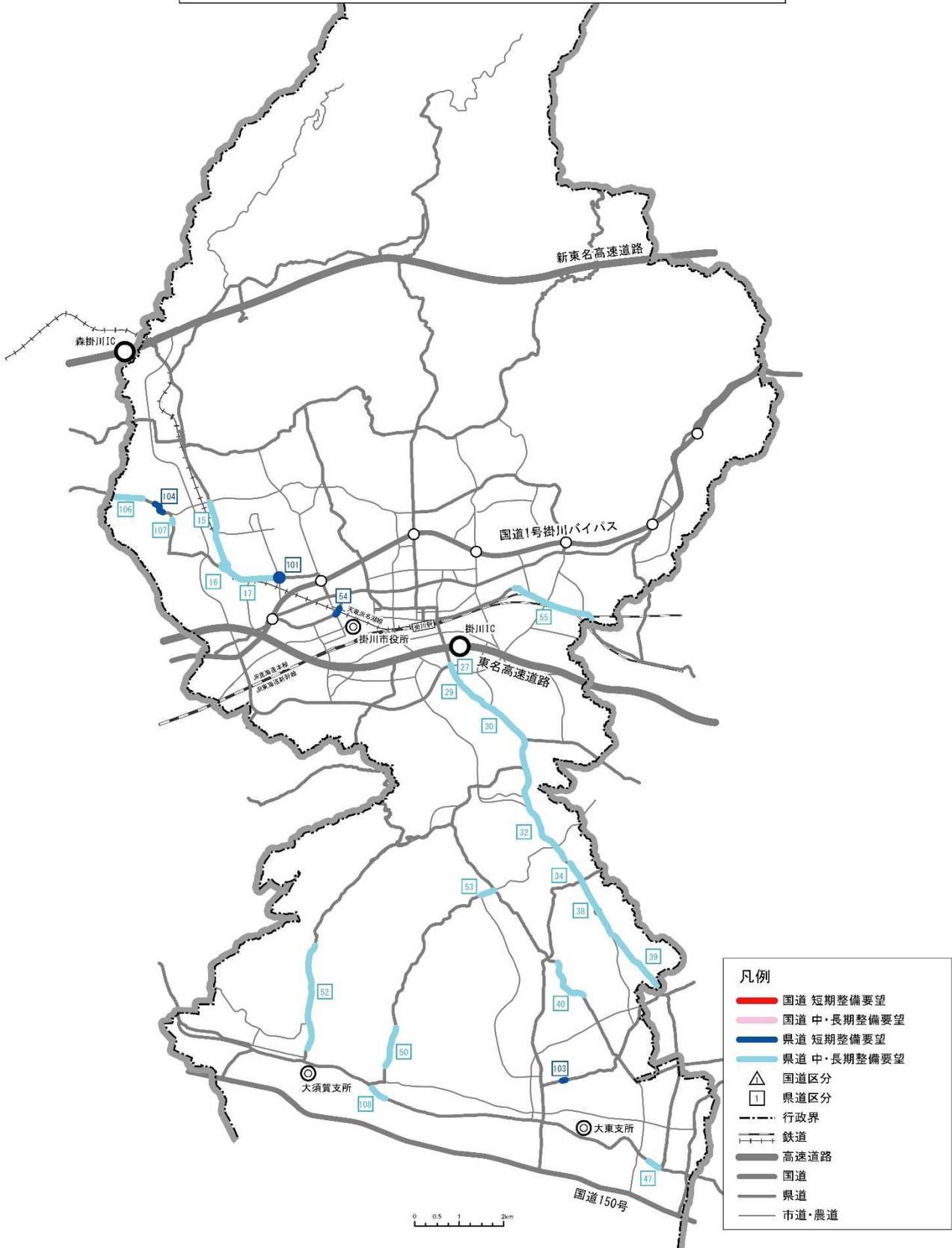
順位	区分	図面 番号	路線名	計画区間	延長 (m)	事業内容	総合 評価	摘要 欄
1	県交	15	(主)掛川天竜線	つくし野・細谷	1,800	歩道設置	長期	
2	県交	101	(主)掛川天竜線	桑高建設交差点	100	歩道設置	短期	追
3	県交	17	(主)掛川天竜線	富部	700	歩道設置	長期	
4	県交	27	(主)掛川大東線	上張～新青田トンネル北	330	歩道設置	長期	
5	県交	29	(主)掛川大東線	新青田トンネル	100	歩道拡幅	長期	
6	県交	54	(一)掛川袋井線	大池(天浜線ガード下)	60	歩道拡幅	短期	
7	県交	55	(主)掛川浜岡線	山口橋東～菊川市境	1,700	歩道設置	長期	
8	県交	16	(一)掛川山梨線	天浜線踏切(富部踏切)	50	歩道拡幅	中期	
9	県交	32	(主)掛川大東線	子隣～佐東川橋北	3,180	歩道改良	長期	
10	県交	108	(主)相良大須賀線	大渕	390	歩道拡幅	中期	追
11	県交	30	(主)掛川大東線	新青田トンネル南～子隣	1,890	歩道設置	長期	
12	県交	34	(主)掛川大東線	佐東川橋南～中方	810	歩道拡幅・ 設置	中期	
13	県交	53	(一)掛川大東大須賀線	上土方旦付新田(落合橋)	500	歩道拡幅・ 設置	長期	
14	県交	104	(一)掛川山梨線	吉岡坂	350	歩道設置	短期	追
15	県交	107	(一)掛川山梨線	吉岡公民館	140	歩道設置	中期	追
16	県交	50	(一)掛川大東大須賀線	東大谷	980	歩道設置	長期	
17	県交	52	(一)大須賀掛川停車場線	大須賀中東(仲町橋)～ 西大谷北橋	2,423	歩道設置	長期	
18	県交	106	(一)掛川山梨線	サカタのタネ前	740	歩道設置	中期	追
19	県交	47	(一)大東相良線	千浜	500	歩道設置	中期	
20	県交	40	(一)袋井小笠線	睦三(中)	200	歩道設置	長期	
21	県交	39	(一)中方千浜線	岩滑	1,830	歩道設置	長期	
22	県交	103	(主)相良大須賀線	新川橋	200	歩道設置	短期	追継
23	県交	38	(一)中方千浜線	井崎～千手橋	1,400	橋梁撤去	長期	

※摘要欄・・・継:事業継続中の箇所、追:中間検証版において追加した箇所



# 掛川市道路整備プログラム

## < 交通安全系・国県道 >



《掛川市道路整備プログラム 改築系 市道》

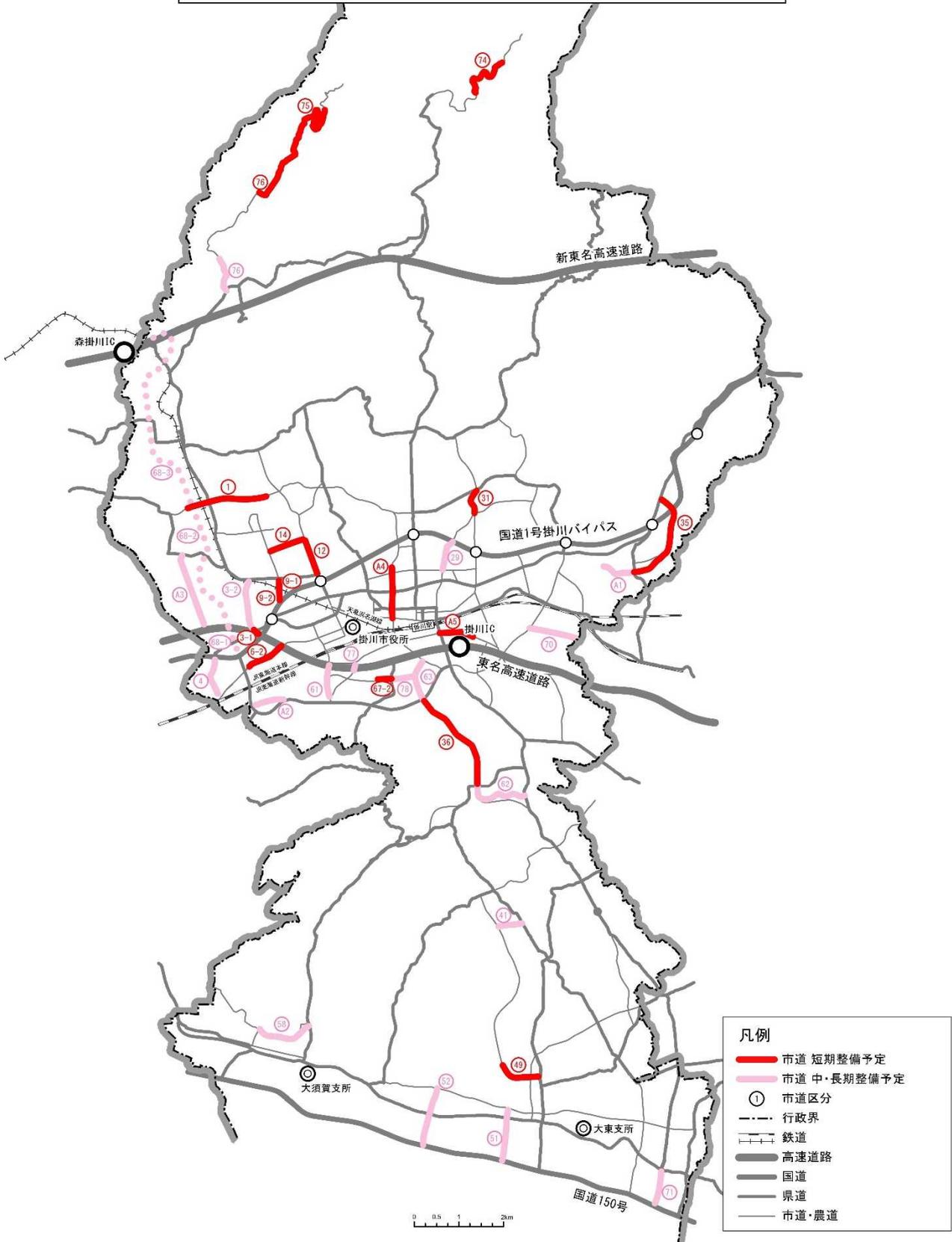
順位	図面 番号	路線名	計画区間	延長 (m)	事業内容	評価 Gr	総合 評価	摘要 欄
1	1	(市)桜木中横断線	細谷～家代	1,600	拡幅(バイパス)	Gr.1	短期	継
2	A4	(市)上張城西線	十王～七日町	1,020	歩道設置	Gr.2	短期	継
3	35	(農)伊達方公文名線	伊達方	2,153	新設	Gr.2	短期	継
4	3-1	(市)国一富部線	国一(岡津)～垂木川	210	拡幅	Gr.2	短期	継
5	68-1	(仮)(市)掛川西環状線	領家～岡津	700	新設	Gr.2	長期	
6	67-2	(市)高御所久保線	久保地内(掛川東高校南)	300	新設	Gr.2	短期	継
7	A5	(市)杉谷久保線	京徳池～掛川大東線交差点	750	歩道設置	Gr.2	短期	継
8	68-2	(仮)(市)掛川西環状線	岡津～細谷	2,800	新設	Gr.2	長期	
9	68-3	(仮)(市)掛川西環状線	細谷～幡鎌～森・掛川 IC	5,000	新設	Gr.2	長期	
10	36	(市)掛川高瀬線	結縁寺IC～岩井寺	2,460	拡幅	Gr.2	短期	継
11	3-2	(市)国一富部線	垂木川～領家(ヤマハ)～富部	830	拡幅	Gr.2	中期	
12	78	(市)高御所久保線	亀ノ甲(花鳥園)～小笠山道線	320	新設	Gr.2	長期	追
13	58	(市)西大淵 119 号線	横須賀～横高北～西大淵	1,340	新設	Gr.2	長期	
14	61	(仮)(都)長谷大池線	杉谷家代線～高御所 IC	730	新設	Gr.2	長期	
15	41	(市)上土方工業団地東西線	上土方	500	新設	Gr.2	長期	追
16	63	(市)掛川高瀬線	花鳥園～結縁寺 IC	1,000	拡幅	Gr.2	中期	
17	70	(仮)(市)掛川浜岡線バイパス	満水(つま恋北)	1,300	新設	Gr.2	長期	
18	62	(市)高瀬岩井寺線	岩井寺～高瀬北線	1,400	拡幅	Gr.2	長期	
19	6-2	(都)掛川駅梅橋線	領家・梅橋	800	新設(バイパス)	Gr.3	短期	継
20	12	(市)桜木中央線	西部交番～JA 農機具センター	800	拡幅	Gr.4	短期	継
21	9-2	(市)細田六才線	芥田橋～宇部生コン南	380	拡幅	Gr.4	短期	継
22	9-1	(市)細田六才線	小山平地内	100	拡幅	Gr.4	短期	継
23	31	(市)郡道坂線	水垂～初馬	730	新設(バイパス)	Gr.4	短期	継
24	49	(市)三井幹線	大坂地内	1,100	拡幅	Gr.4	短期	継
25	29	(都)上張神明線	水垂セブンイレブン～バイパス下	700	新設	Gr.4	長期	追
26	14	(市)桜木南横断線	森平～JA 農機具センター	900	拡幅	Gr.4	短期	追継
27	74	(市)居尻黒俣線	居尻～黒俣	1,300	拡幅	Gr.4	短期	継
28	51	(市)矢柄線	大坂地内	1,200	拡幅(一部新設)	Gr.4	長期	追
29	A2	(市)掛川袋井南線	篠場	600	歩道設置	Gr.4	中期	
30	71	(市)千浜西線	千浜	300	拡幅改良	Gr.4	長期	
31	77	(市)掛川袋井南線	東名 BOX	100	改築	Gr.4	長期	
32	76	(市)高山西之谷線	久居島～上西之谷	1,400	拡幅	Gr.4	短期	
33	75	(市)明ヶ島線	上西之谷	1,700	拡幅	Gr.4	短期	
34	52	(市)大淵 3 号線、4 号線	岡原、浜	1,337	拡幅	Gr.4	長期	
35	4	(都)梅橋各和線	梅橋～原川国一交差点	900	新設	Gr.4	長期	
36	A1	(市)逆川本通り線	逆川	800	歩道設置	Gr.4	長期	
37	A3	(市)梅橋吉岡線	各和～吉岡	750	歩道設置	Gr.4	長期	

※摘要欄・・・継:事業継続中の箇所、追:中間検証版において追加した箇所



# 掛川市道路整備プログラム

## < 改築系・市道 >



## 6. 道路整備完了箇所の状況

H25 版プログラムに位置づけられた箇所のうち平成 29 年度末までに完了した箇所(県道)は以下のとおりです。

No.	区分	路線名	計画区間	延長(m)	事業内容
60	改築	(一) 中方千浜線	中方交差点	220m	交差点改良
18	交安	(一) 原里大池線	上垂木(馬場)	560m	歩道設置
36	交安	(一) 袋井小笠線	土方	520m	歩道設置
43	交安	(一) 袋井小笠線 (主) 相良大須賀線	中交差点	100m	歩道設置・交差点改良

これらのうち、代表的な整備箇所の状況は次のとおりです。

### 《(一) 中方千浜線 中方交差点》



着手前



#### 《整備効果》

通勤時間帯における渋滞の緩和



### 《(一) 袋井小笠線 土方》



着手前



#### 《整備効果》

沿線にある土方小学校の児童など歩行者の安全性向上



また、同じく平成 29 年度末までに完了した箇所(市道)は以下のとおりです。

No.	区分	路線名	計画区間	延長(m)	事業内容
6-1	市道	(市)掛川駅梅橋線	長谷・高御所・領家	786m	道路新設
10	市道	(都)杉谷家代線 (市道 家代川東幹線)	下垂木(一丁田)	450m	道路新設
39	市道	(市)入山瀬線	入山瀬	1,680m	道路新設
43	市道	(市)海洋公園線	国浜	950m	道路新設
66	市道	(市)掛川袋井南線	東名 BOX 南～高御所 IC	900m	道路改築

これらのうち、代表的な整備箇所の状況は次のとおりです。

《(市)掛川駅梅橋線 長谷・高御所・領家》

着手前



整備後



《整備効果》

掛川市と袋井市における市街地間の交通円滑化に伴う利便性が向上(JR 愛野駅、中東遠医療センターへのアクセス等)するとともに、今後の沿道利用が期待できる



《(市)入山瀬線 入山瀬》




《整備効果》

南部エリアの地域拠点と都市拠点(中心市街地)との連携強化  
医療機関(中東遠総合医療センター)へのアクセス性向上





## 7. これからの道路整備のあり方

### 7-1. 道路整備の先にあるもの

今後の道路整備によりもたらされるものとして、以下のような効果が期待されます。

- 広域都市連携軸の整備により、静岡空港や御前崎港へのアクセス性が向上し、ヒト・モノの動きがより活発化されます。
- 緊急輸送路等の整備により、大規模災害発生時における物資輸送の確実性が向上します。
- スマートICやICアクセス道路の整備により、掛川市内への企業進出が進みます。
- 各生活拠点における交通利便性が向上することで、市民の生活満足度が向上します。
- 幹線道路の4車線化や交差点改良実施により、渋滞の緩和・解消が図られます。

### 7-2. おわりに

道路に対する取り組みは、具体的なハード整備だけでなく、スマートインターチェンジなど新たな結節点整備に対する調査・研究も進めなければなりません。

加えて、バスなど公共交通機関への支援や現在技術開発が進められている自動運転に対する情報収集や研究なども行っていく必要があります。

これら、新たな道路施策に対する調査・研究を進め、ハード整備と一体となって、『**希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川**』の実現に取り組んでいきます。

